

(様式第 12 号)

事業収支決算書（札幌市子どもの見守り強化事業補助金）

団体名 \_\_\_\_\_

1 収入

項目	決算額	内訳（算出根拠）
札幌市補助金（決算額）		（別紙 1）補助対象経費一覧に記載の補助対象額
民間助成金		
参加費		
寄付金等		
自己負担		
その他		
収入合計		

2 支出

項目	決算額	内訳（算出根拠）
人件費		
食材購入費		
運搬費		
物品購入費		
会場使用料		
普及啓発費		
保険料		
受講料、検査料		
その他の経費		
支出合計		

- 団体の運営の収支ではなく見守りの基本となる事業（子どもの居場所づくりや宅食活動など）の収支を記載すること。
- 収入合計と支出合計を一致させること。  
収入金額と支出合計が一致せず、札幌市補助金（決算額）を含む収入合計 > 支出合計となる場合、札幌市補助金の交付額を減額する場合がある。
- 支出の欄には別紙 1 の補助申請経費だけでなく、事業の支出すべてを記載すること。

(別紙1)

補助対象経費一覧 (札幌市子どもの見守り強化事業補助金)

項目	経費金額	内訳 (算出根拠)
人件費		
食材購入費		
運搬費		
物品購入費		
会場使用料		
普及啓発費		
保険料		
受講料、検査料		
その他の経費		
<b>補助対象経費合計</b>		※ 下表Bへ転記

- 下表の補助対象計算欄で算出した「補助対象額」を超える経費は必ずしも記載しなくてもよい。
- 食材購入費の欄に記載する場合は、別紙2「食事提供日における総提供数と支援対象児童数」を記載し計算すること。
- 運搬費の欄に記載する場合は、別紙3「食事運搬日における総運搬箇所数と支援対象児童への運搬箇所数」を記載し計算すること。

補助対象額計算欄	
<b>【補助単価による算出額】</b>	
① 居場所による状況把握 @1,000円×年間延べ 人= 円	
② 訪問による状況把握 @1,500円×年間延べ 人= 円	
A <input type="text"/> ①+②算出額合計 円	<= (または) => B <input type="text"/> 補助申請経費合計 円
(※ AとBのいずれか低い方の金額をCに転記)	
C <input type="text"/> 円	< (または) > D <input type="text"/> 交付決定額 円
(※ CとDのいずれか低い方の金額を補助対象額に転記)	
<b>補助対象額</b>	円 (収支決算書の札幌市補助金欄に転記)

※ 補助対象額の計算方法

- ・ 補助単価と状況把握の件数による算出額 (A) と補助申請経費合計 (B) を計算
- ・ 次に、AとBのいずれか低い額をCに転記
- ・ Cと交付決定時の交付決定額 (D) を比較し、いずれか低い方の金額とする。  
(1,000円未満の端数が生じた場合は切り捨てとすること。)



